

新病院のスタートに図書室担当者ができること

新しい図書室と情報コーナー ～からだプラザ～ OPEN

鈴木 初枝

愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院 図書室

【 はじめに 】

当院は、平成 20 年 1 月加茂病院より新築移転し、名称も豊田厚生病院と改名、新しい病院としてスタートしました。この機会に“ 図書室担当者ができることは何か。”を追求し、2 年前より準備を始めました。職員用図書室はインターネット時代に合わせて機能充実をめざしました。情報コーナーは待合室から近年全国的に広がっている“患者図書室”機能をもたせる施設へと展開し、設置・運営に取り組みました。

【 新しい図書室 】 ～図書室づくりのポイント～

1. 病院機能評価受審適合化・臨床研修指定病院としての図書室機能とは
 - a) 図書システム導入。データ登録・分類・バーコード貼付
 - b) 分類表示を明確にして棚段にNo付け、書架レイアウト表の作成によりスムーズに移転
 - c) 24 時間利用可能なWEB化をめざして、電子ジャーナルの導入
2. 利用者に優しい図書室・ゆとりの空間をめざして
 - a) 移転前の図書は免震移動書架に全て収納。新着雑誌架・新刊紹介書架・電子カルテ閲覧パソコン 1 台・インターネット検索性パソコン 4 台・FAX複合コピー機・TV・DVDデッキ・受付カウンターには貸出手続き専用パソコン・閲覧席 12 席・ソファセットを設置
 - b) 図書室ホームページ活用で利用者へのサービスを充実

【 情報コーナー ～からだプラザ～ OPEN 】

1. “患者図書室”とは何か？全国の患者図書室の資料を情報収集。WEBで検索・研修会に参加・施設見学と積極的に行動を起こし、見て聴いて調べる、そしてできることから始める。
2. 「THE OPEN！」グローバル・バリアフリーをめざして
利用者ひとりひとりの「知りたい。」「調べたい。」気持ちを大切に調べるお手伝いをする。
当院は外国の方が多く利用される病院であるため、グローバルな対応をめざし、図書・リンク先を検討。また、お年寄りや障害者にやさしい施設としても検討。手話での対応もしています。

【 まとめ 】 ～ 図書室担当者にごできること～

1. WEB化時代に対応したアクティブな図書室・利用者に優しい親切的な図書室づくり。
 2. 患者さまとご家族・市民の皆さまの医学情報・がん情報の検索の心のこもったお手伝い。
- 図書室担当者として、情報検索のプロ意識を高める自己啓発に努め、利用者の「調べたい。」気持ちに積極的にアプローチして道標をつけること。そして一番できることは心のこもった笑顔のおもてなしです。

< 図書室 >



< 情報コーナー～からだプラザ～ >

